

客観的指標の評価方法（案） 1 各年度目標値の設定方法

これまで（2016（平成28）年度～2020（令和2）年度）の設定方法

- 排出量や件数など数値目標については、2014(平成26)年度の実績数値を基準とし、2020年度目標値までを均等に割り付けて、各年度目標値を設定
- ただし、京都市環境保全基準（大気汚染・水質汚濁）の達成状況については、「可及的速やかに達成するよう努め、既に達成されている場合にあっては、現状を維持するよう努める」と定められていることから、**毎年度100%**を目標とする。



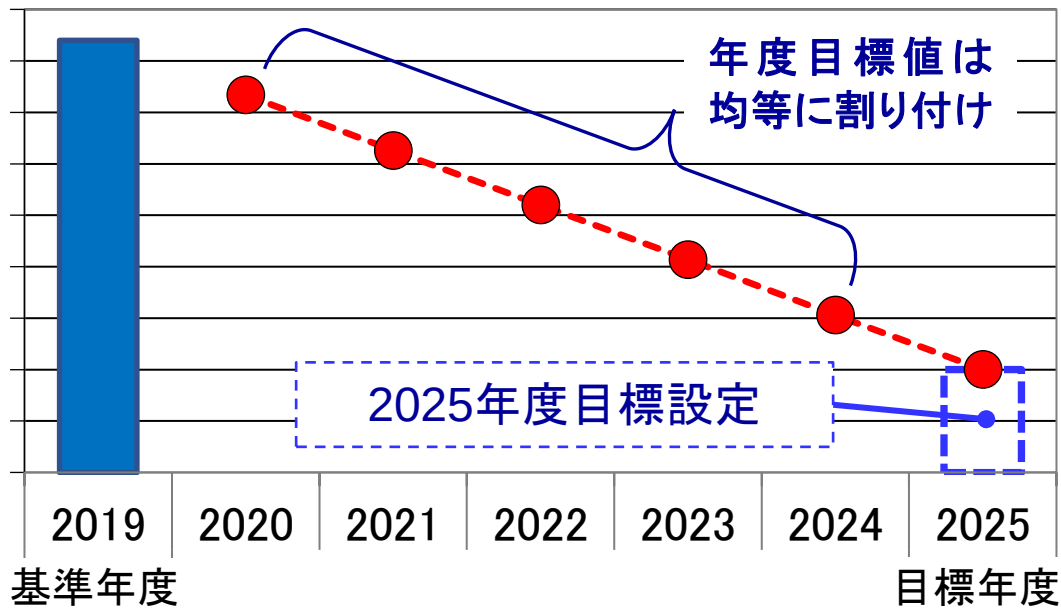
改定計画（2021（令和3）年度～2025（令和7）年度）での設定方法（案）

- 京都市基本計画や分野別計画に各年度目標値を設定している場合は一致させる。
- 2025年度又は2030(令和12)年度の目標値のみを設定している場合は、**2019(令和元)年度の実績値を基準**とし、目標値までを**均等に割り付けて、各年度目標値を設定**
- ただし、**京都市環境保全基準の達成状況については毎年度100%**を目標とする。

客観的指標の評価方法（案） 2 実績値の評価方法（案）

年度目標値の設定イメージ ■ 実績値 ●- 年度目標値

基準値から目標値までを直線的に均等に割り付けて、年度目標値を設定



年度目標値に対する実績値の達成率に応じて5段階で評価
(右表参照)

評 価	年度目標値に対する実績値の達成率
★★★★★	100%以上
★★★★☆	80%以上100%未満
★★★☆☆	60%以上80%未満
★★☆☆☆	40%以上60%未満
★☆☆☆☆	40%未満